資料３

病院看護実態調査結果

三重県医療保健部
医療人材課

令和６年度病院看護実態調査の概要（三重県看護協会実施）

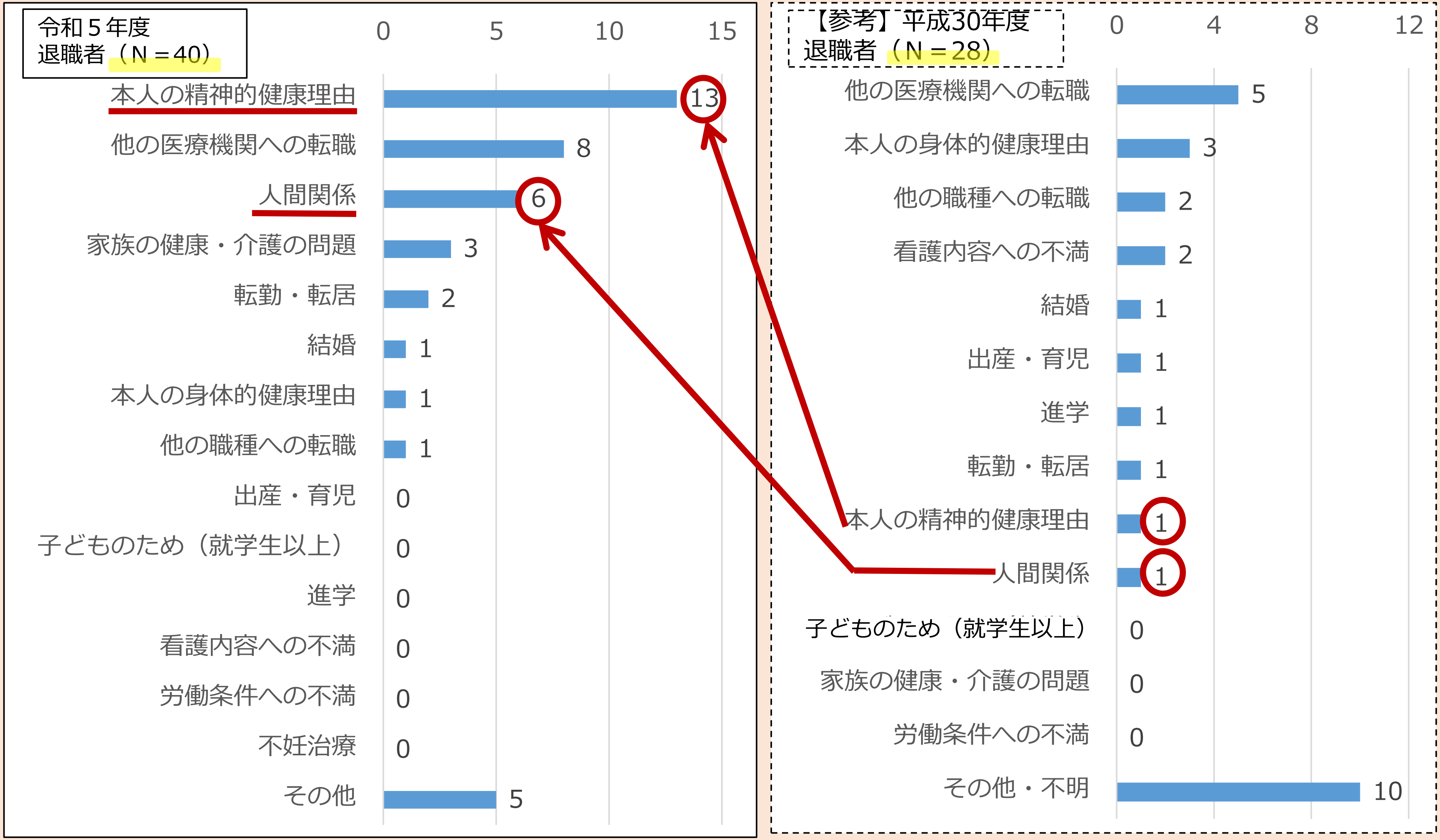
三重県

調査目的	三重県内の病院における看護職員の需要状況や雇用の実態を把握し、県内における看護職の確保、就労支援のあり方を検討するために実施
調査基準日	令和６年７月１日現在
調査対象	三重県内の病院（92病院）
調査方法	郵送・Webサイト
調査期間	令和６年11月１日～同年12月５日
回収率	82.6%（76/92病院）

正規雇用看護職員（新卒）の退職理由

三重県

Q．令和５年度の正規雇用看護職員（新卒）の退職理由は何か。



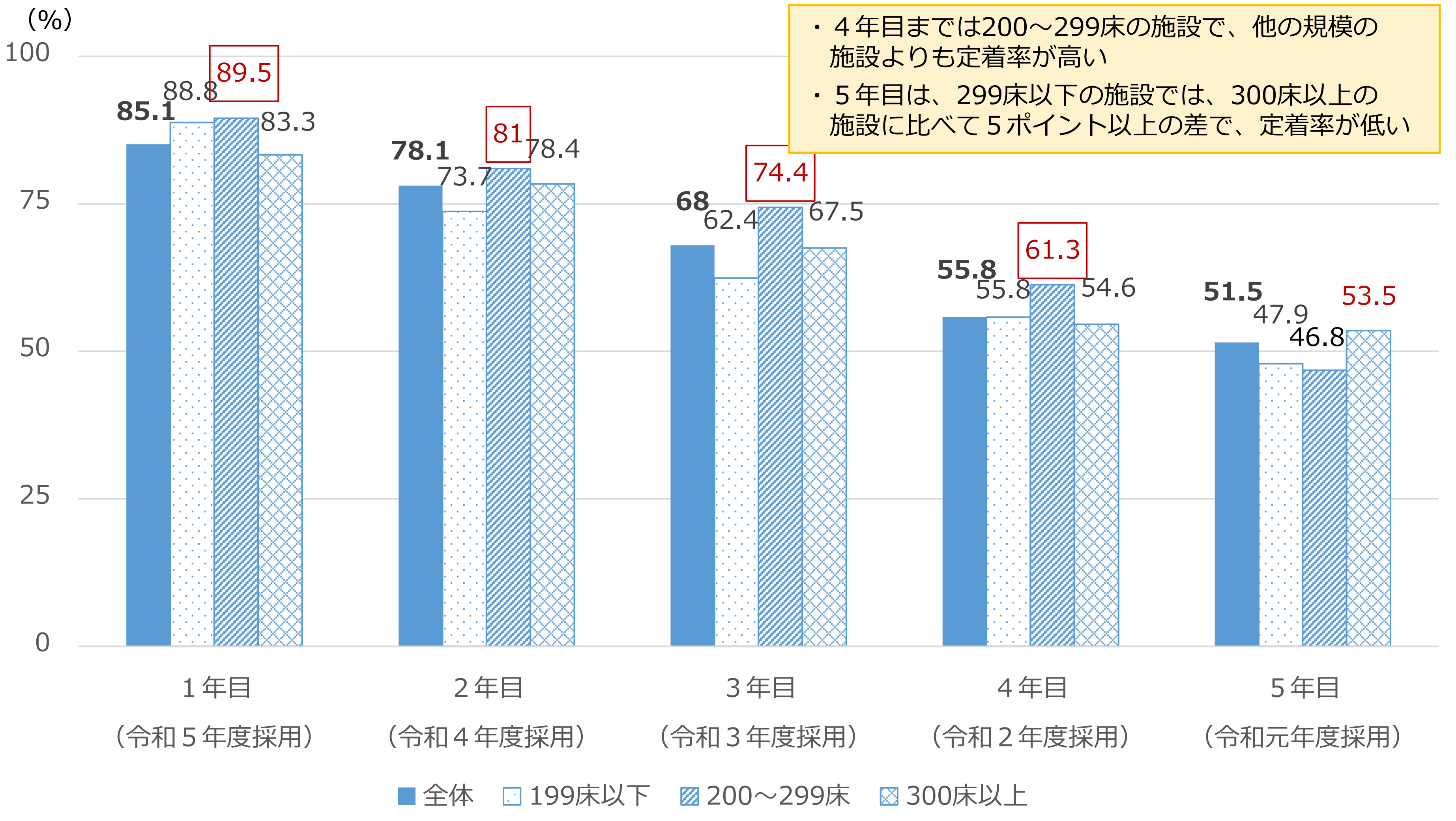
出典：三重県看護協会「病院看護実態調査」（回答率 74～83%）

新卒看護職員の職場定着状況

三重県

Q．新卒看護職員の職場定着状況はどのようか。

・４年目までは200～299床の施設で、他の規模の施設よりも定着率が高い
・５年目は、299床以下の施設では、300床以上の施設に比べて５ポイント以上の差で、定着率が低い

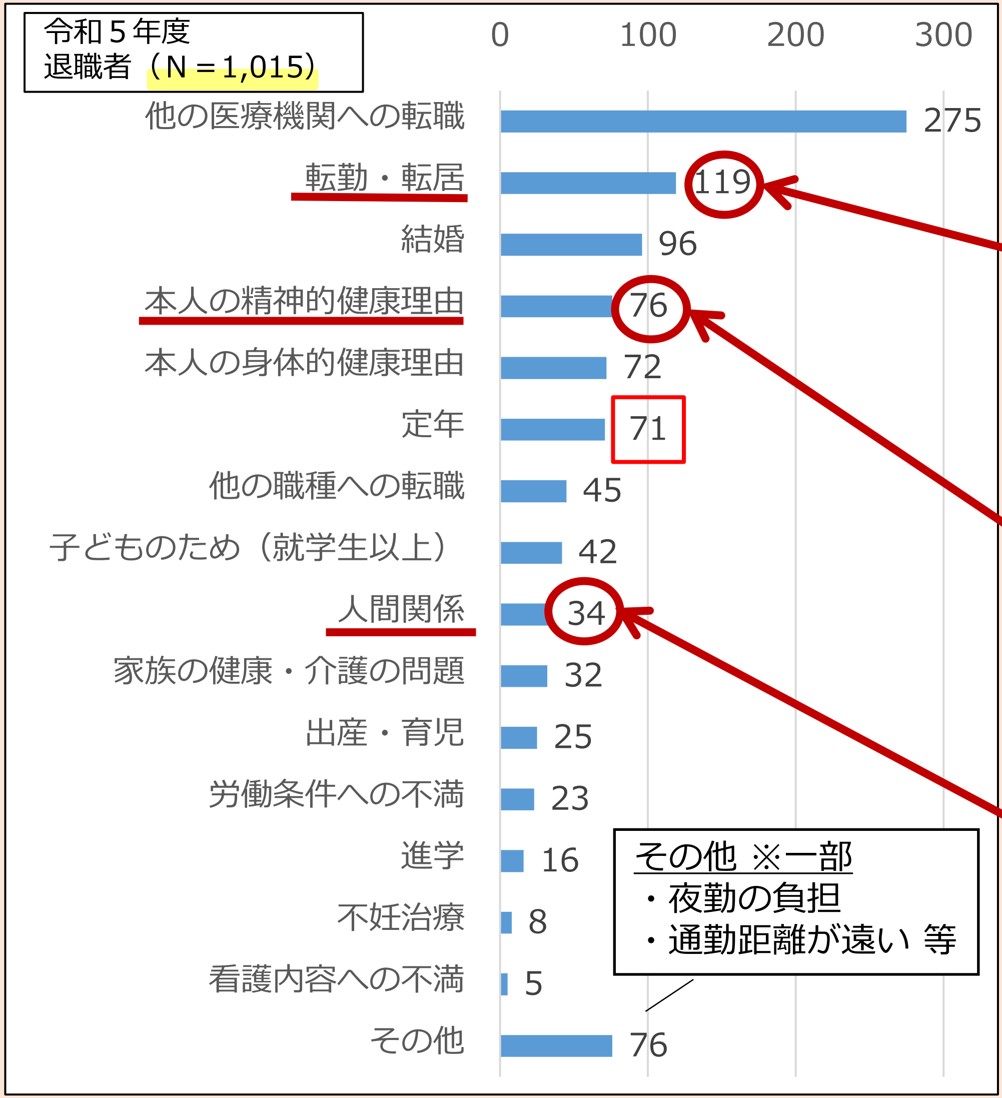


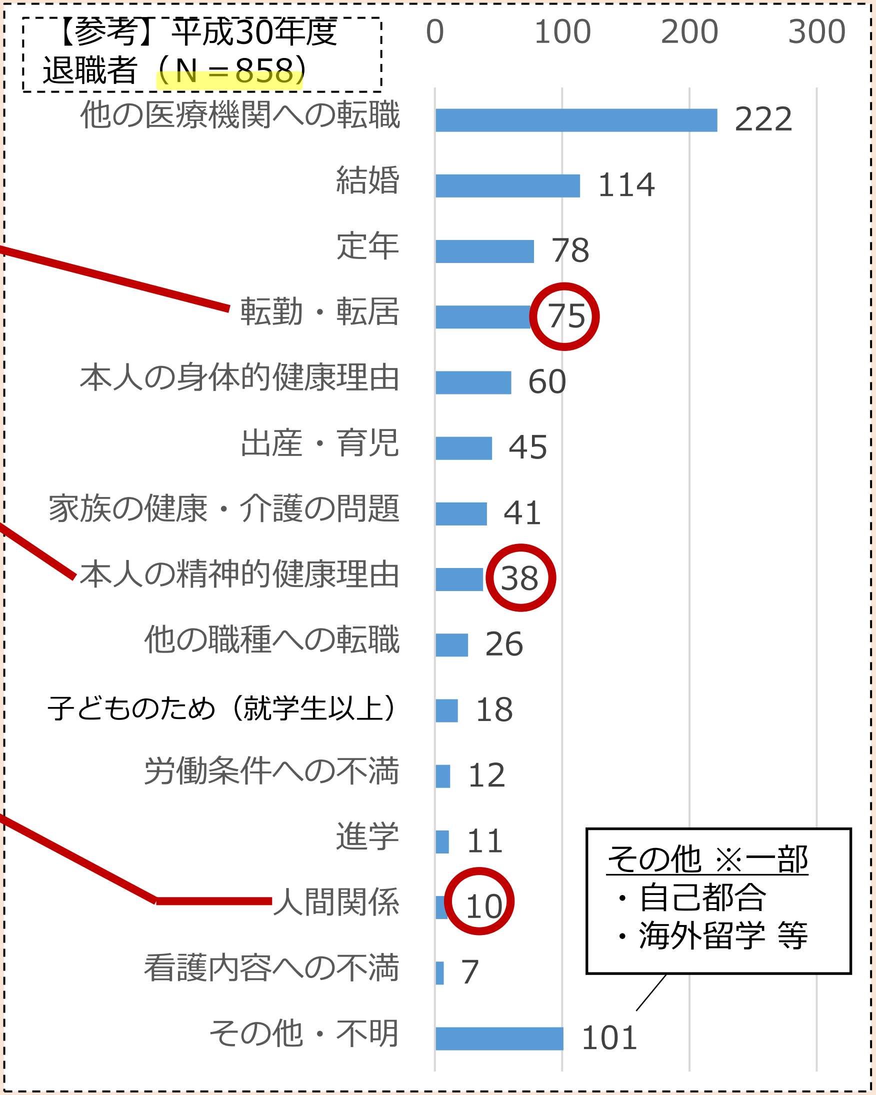
出典：三重県看護協会「令和６年度 病院看護実態調査」（回答率 83%）

正規雇用看護職員（新卒以外）の退職理由

三重県

Q．令和５年度の正規雇用看護職員（新卒以外）の退職理由は何か。





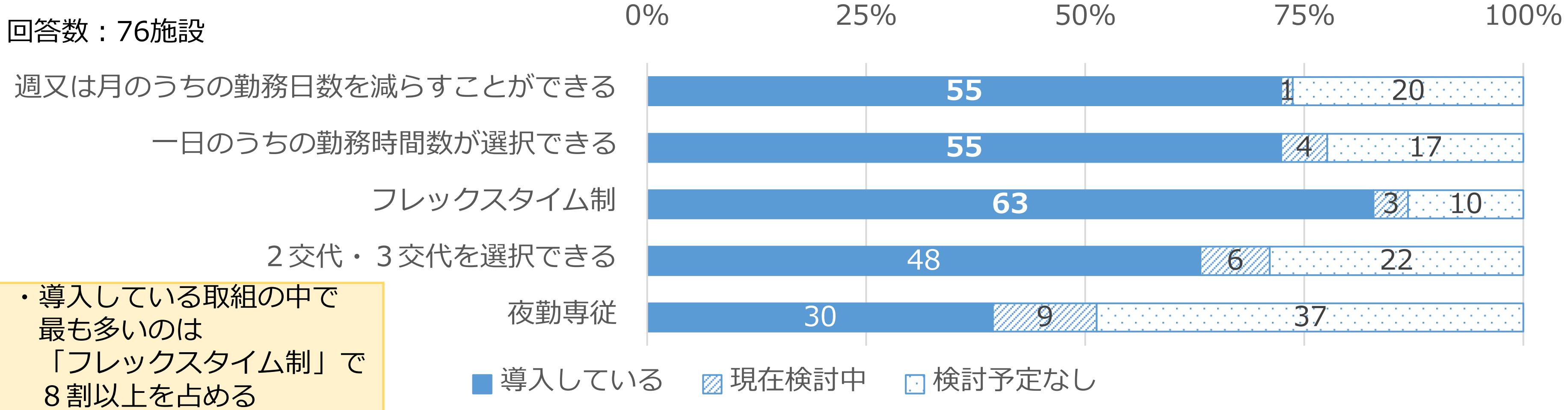
出典：三重県看護協会「病院看護実態調査」（回答率 74～83%）

病院看護実態調査結果（多様な勤務形態）

三重県

Q．「多様な勤務形態」の導入状況はどのようか。（複数選択可）

回答数：76施設



・導入している取組の中で最も多いのは「フレックスタイム制」で８割以上を占める

Q．「多様な勤務形態」について他に取り組まれていることを記入してください。

	勤務時間短縮・部分休業	夜勤	その他
適応期間	子どもが ・小学３年生まで	子どもが ・小学校就学前まで	-
内容	・早出・遅出の免除	・免除・減免 （回数・曜日）	・４勤３休　・時間有休 ・日勤常勤者採用 ・希望部署の面接

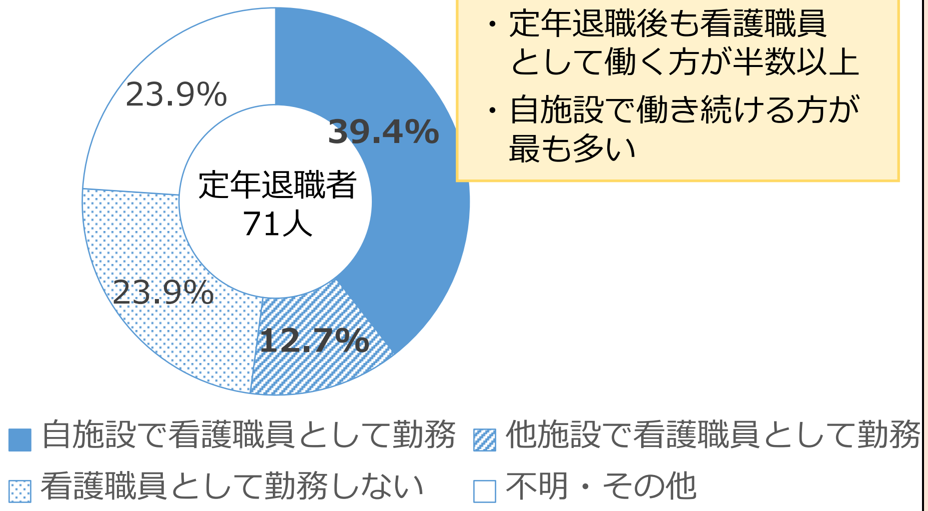
Q．夜勤負担を軽減する取組は何か。

・一日を通した業務量の把握・調整
・夜間における部署間支援
・看護補助者の夜間配置
・夜間院内保育所の設置　など

病院看護実態調査結果（定年退職後の看護職員の人材活用）

三重県

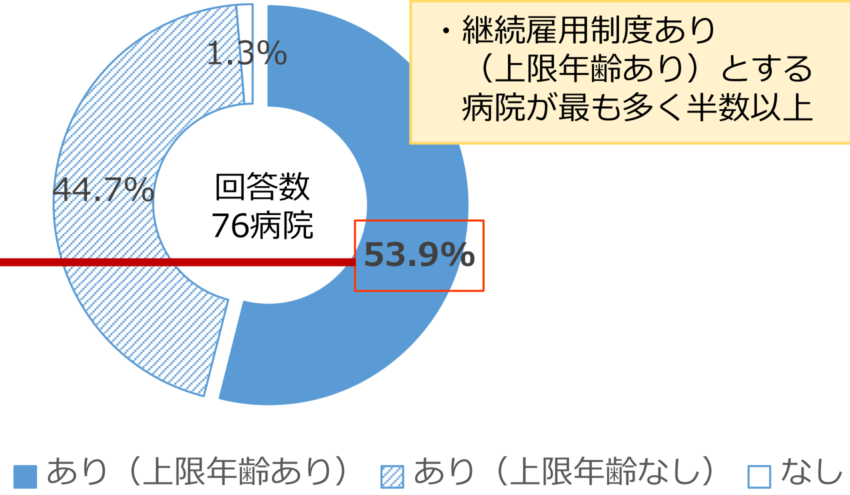
Q．定年退職後の勤務状況はどのようか。



・定年退職後も看護職員として働く方が半数以上

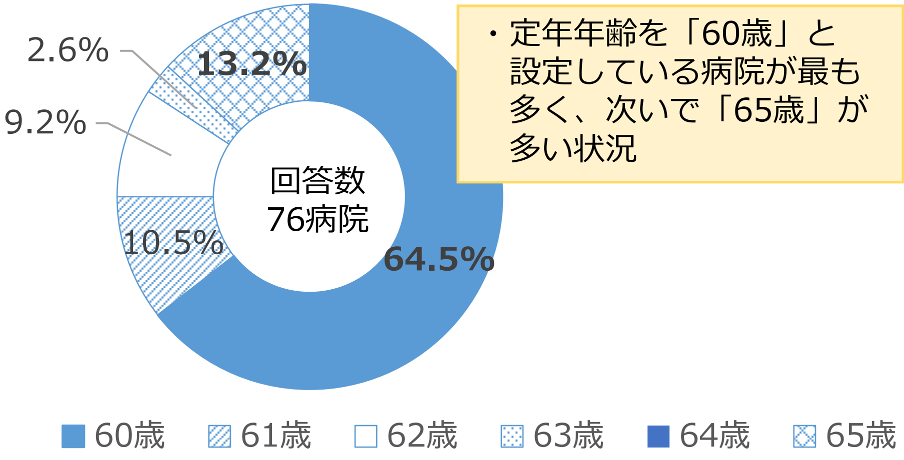
・自施設で働き続ける方が最も多い

Q．定年後の継続雇用制度があるか。



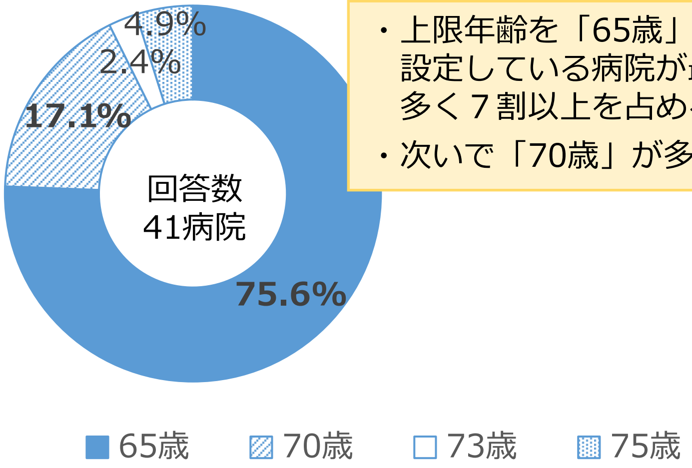
・継続雇用制度あり（上限年齢あり）とする病院が最も多く半数以上

Q．定年年齢はいくつか。



・定年年齢を「60歳」と設定している病院が最も多く、次いで「65歳」が多い状況

Q．上限年齢はいくつか。



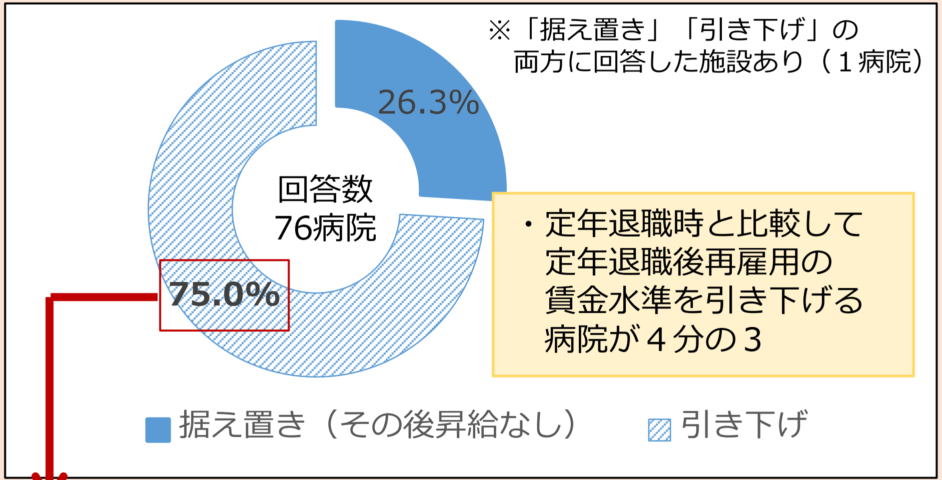
・上限年齢を「65歳」と設定している病院が最も多く７割以上を占める

・次いで「70歳」が多い

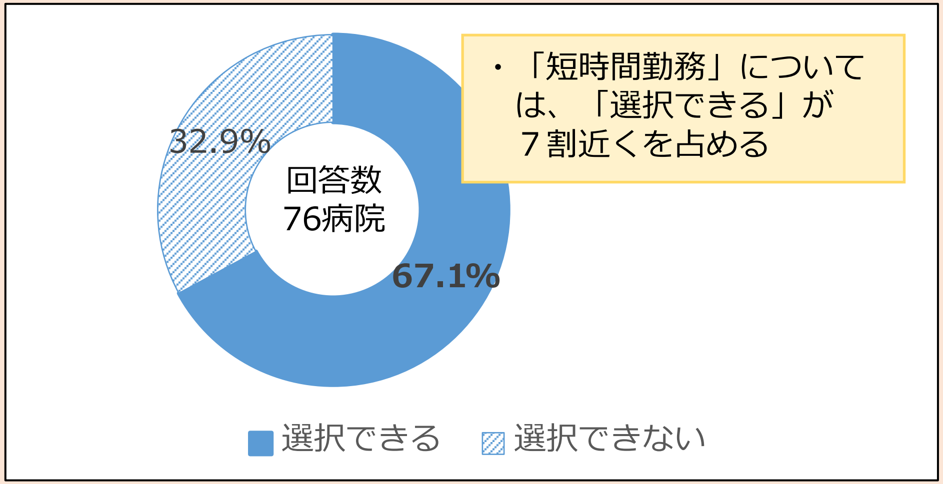
病院看護実態調査結果（定年退職後の看護職員の人材活用）

三重県

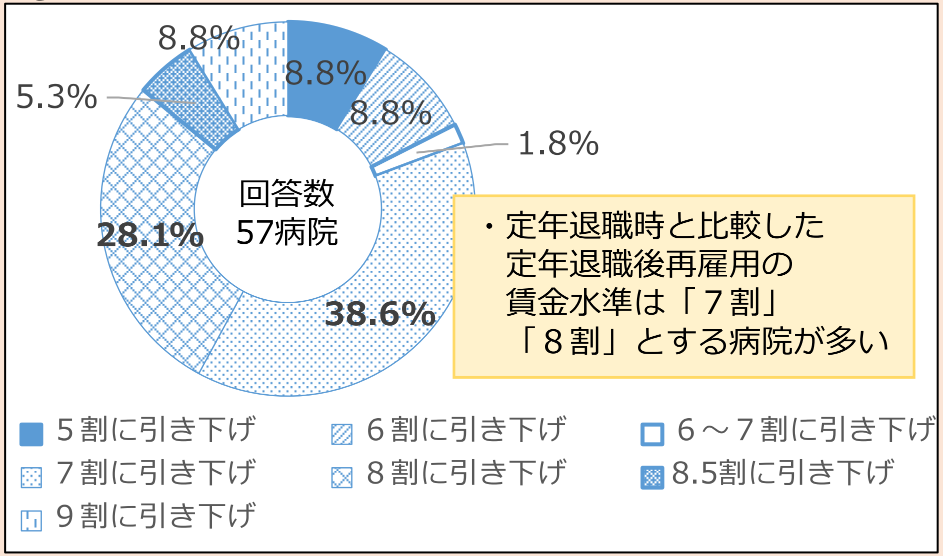
Q．定年退職後再雇用の看護職員の処遇はどうか。（賃金水準）



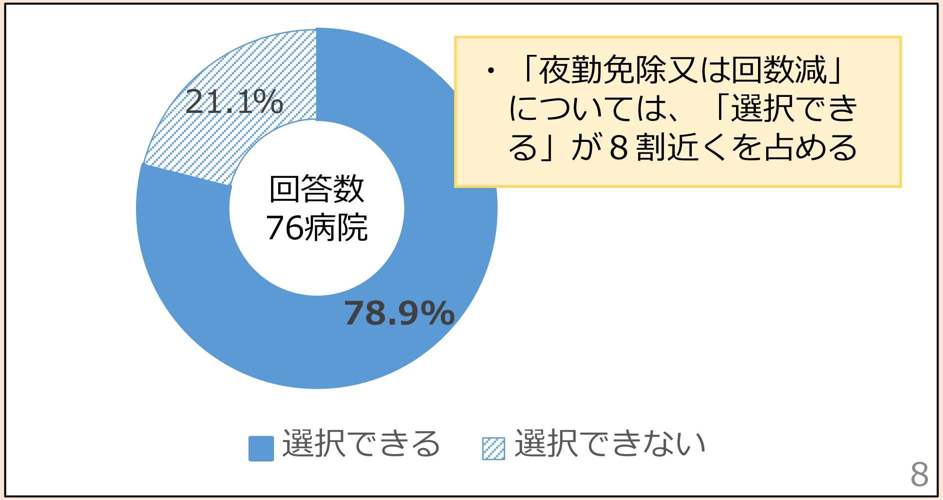
Q．定年退職後再雇用の看護職員の処遇はどうか。（短時間勤務）



Q．何割程度の引き下げとなるか。

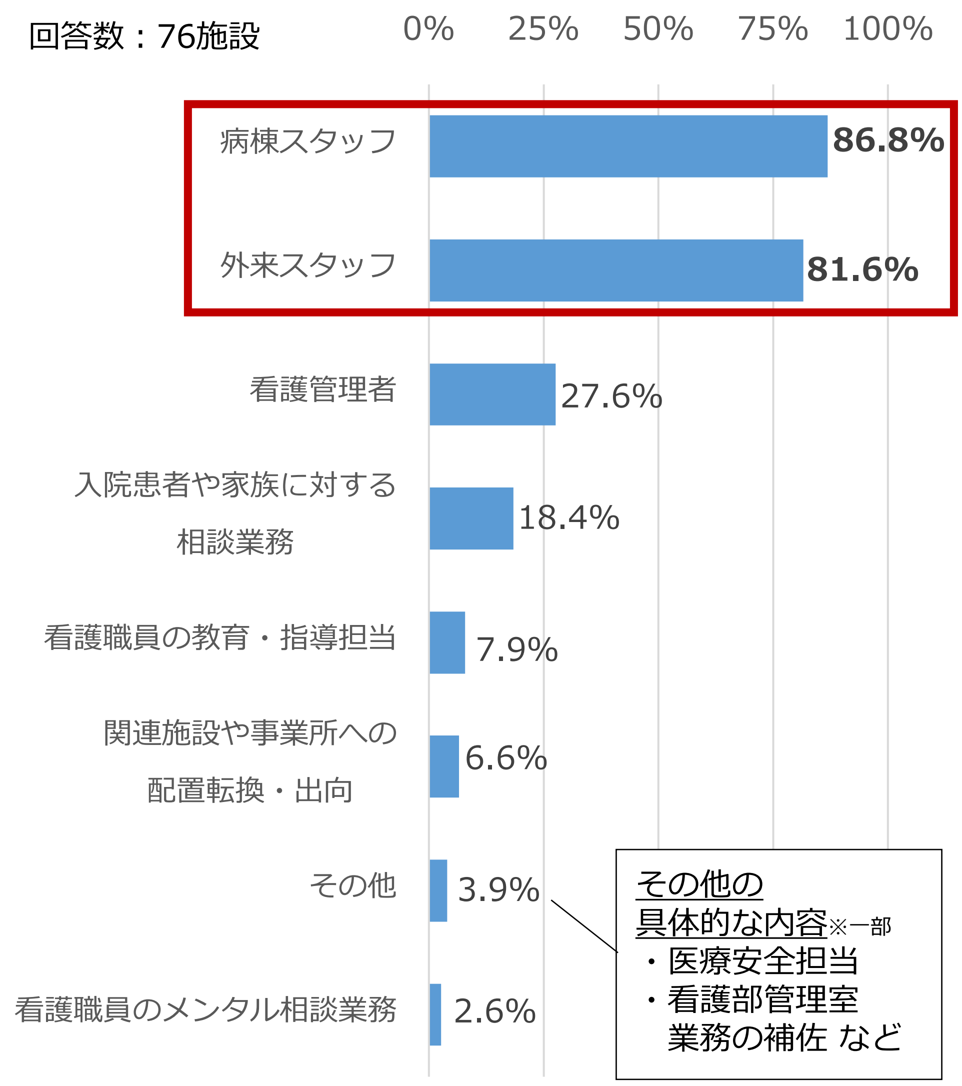


Q．定年退職後再雇用の看護職員の処遇はどうか。（夜勤免除又は回数減）



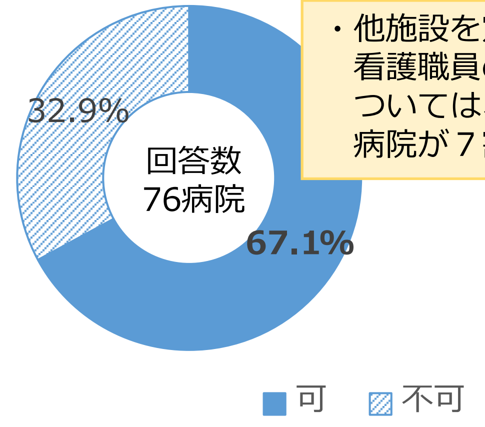
病院看護実態調査結果（定年退職後の看護職員の人材活用）

Q．定年退職後再雇用の看護職員の主な従事業務は何か。（複数選択可）



その他の具体的な内容※一部
- 医療安全担当
- 看護部管理室業務の補佐 など

Q．他施設を定年退職後の雇用の可否はどうか。



・他施設を定年退職した看護職員の雇用の可否については、「可」とする病院が７割近くを占める

2023年　病院看護実態調査の概要（日本看護協会実施）

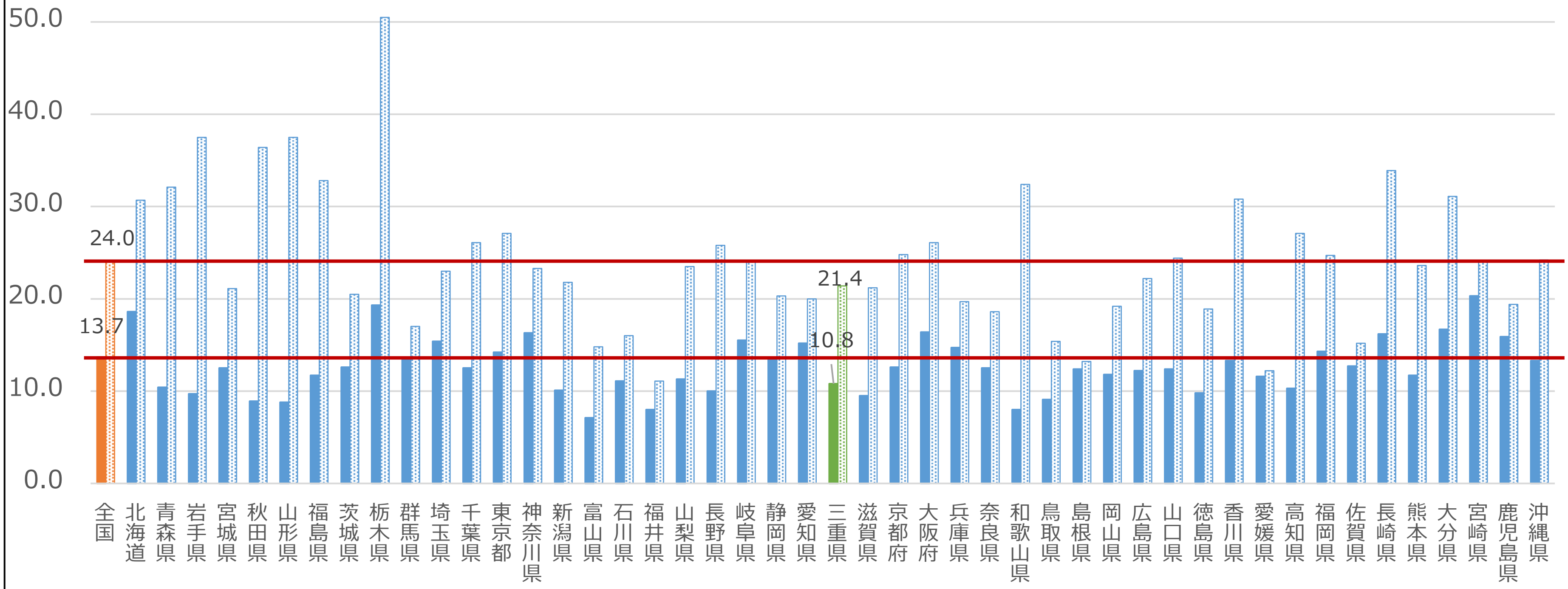
全国

調査目的	全国の病院における看護職員の需給動向や労働状況の把握を目的として実施
調査基準日	令和６年10月１日現在
調査対象	全国の病院（8,079病院）
調査方法	調査専用サイトからExcel形式の調査票をアップロード
調査期間	令和６年10月１日～同年11月15日
回収率	42.3%（3,417/8,079病院）

病院看護実態調査結果（看護補助者の離職状況）

全国

Q．令和５年度の正規雇用および非正規雇用の看護補助者の退職状況はどのようか。

	看護補助者	
	正規雇用（割合）	非正規雇用（割合）
令和５年度 離職率	13.7%	26.1%
令和５年度内 離職率	**24.0%**	**34.7%**

都道府県・正規雇用看護補助者離職率（令和５年度）